



北空知4町住民アンケート調査（集計速報）

令和4年1月12日

第3回 北空知4町地域公共交通活性化協議会資料

目次

1.	調査概要	2
2.	調査結果からみえる公共交通における課題の整理	3
3.	集計結果	6
3-1	個人属性	6
3-2	通学・通勤の状況	13
3-3	買い物の状況	23
3-4	通院の状況	31
3-5	各町の公共交通に関する考え方	39
4.	自由記述（抜粋）	49

(1) 調査目的

各町各地区で異なる住民の生活実態（生活圏）や公共交通に対するニーズを把握するために、北空知4町に居住する住民を対象としたアンケート調査を実施

(2) 調査期間

令和3年9月3日（金）～10月8日（金）到着分

(3) 調査対象者

4町9地区の15歳以上の方を対象に1,600世帯を抽出（1世帯あたり2票配布、計3,200票配布）

各町における配布世帯数（4町11地区 1,600世帯）

妹背牛町 2地区 470世帯	北竜町 3地区 360世帯
秩父別町 2地区 250世帯	沼田町 2地区 520世帯

(4) 配布・回収方法

郵送による配布・回収（576世帯分、940票回収）
⇒回収率36.0%（世帯ベース）

各町における回収数

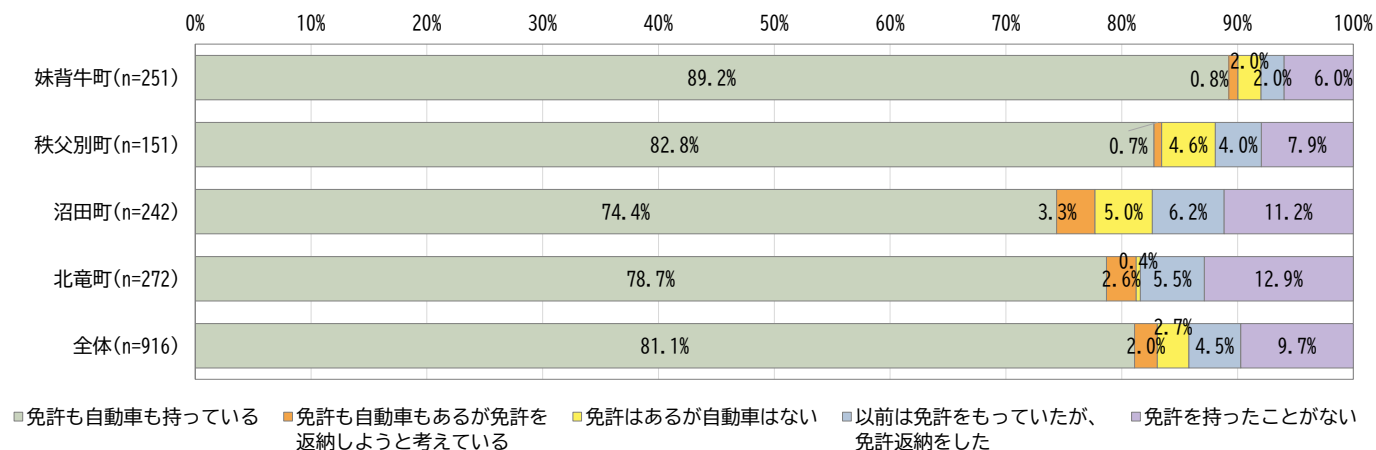
妹背牛町 256票	北竜町 280票
秩父別町 154票	沼田町 250票

(5) 調査項目

- ① 個人属性（性別、年齢、職業、住所、自動車及び免許の保有状況など）
- ② 交通行動（通学・通勤、買い物、通院の頻度、曜日、目的地、交通手段など）
- ③ 管内の公共交通に関する考え方

■町民の運転意向や将来の移動手段

- ・運転免許保有者のうち、4町とも4割以上が「できる限り運転したい」（P9）と回答しており、後期高齢者（75歳以上）となっても運転を続けたい意向があり、**高齢者ドライバーの増加による交通事故などのリスクが高まる可能性**がある。
- ・また、将来、運転が困難になった場合（P10・11）に、4町とも6割以上が「バスを利用する」と回答しており、免許返納時の町民のバス利用意向は高いことが想定され、JRやタクシーなどの公共交通機関についても一定数の回答数があるため、**町内公共交通及び広域にまたがる地域間幹線システムの維持・確保を継続的に実施していくことは、高齢者ドライバーのリスク低減に有効であることが期待**される。
- ・一方で、免許返納により困ること（P12）において、4町とも「買い物に行けなくなる」、「通院ができなくなる」などの今後も居住している町で生活していく上で、重要な行動に制限がかかることを懸念しているため、**現状の公共交通網の維持・確保を効率的に実施しながら、利便性の向上を図ることが重要**である。



■目的別の移動実態

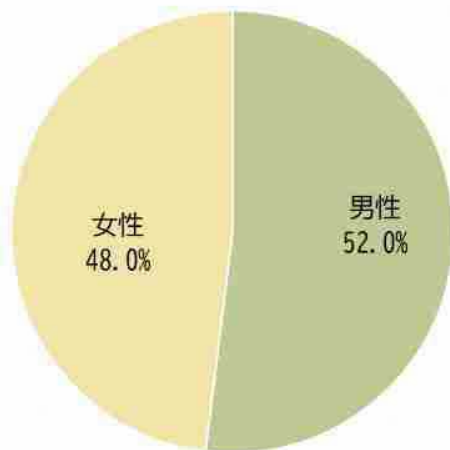
- ・通学・通勤時の移動実態（P 14・15）として、自動車が主な移動手段となっており、通学・通勤先（P 16）は居住自治体のほか、深川市、滝川市が多い。
- ・通学・通勤時に公共交通を利用している町民に絞ると、乗換回数が多いことや乗換に係る待ち時間が多くかかっている状況がみられる。また、目的地まで直接向かうことが難しいため、総合的な移動時間も長くなっており、**通学・通勤時の移動利便性が低い**状況である。
- ・通学・通勤時の利便性の向上にあたっては、**乗換負担が少なくなるような公共交通網の検討**、また、移動時間の軽減においては、朝・夕時間帯限定で利用が多いバス停だけに停車するなど、**既存の公共交通よりも快速化された運行形態の検討が必要**である。
- ・買い物時の移動実態として、日常的な買い物（P 24）は町内で行うことが多い一方で、深川市も買い物先として選択されており、1週間で「週に2日以上」は深川市に買い物に行くことが多くなっている。また、大型商業施設でのまとめて購入する場合（P 28）には、深川市、旭川市、滝川市の商業施設が集積している自治体への買い物が多い状況である。
- ・通院時の移動実態として、買い物時と同様に、軽い症状での通院（P 32）は町内で行うことが多い一方で、深川市も通院先として選択されている。また、総合医療施設への通院時（P 36）も買い物時と同様の傾向であり、深川市、旭川市への通院が多い状況である。
- ・買い物及び通院においても、「自動車（自分の運転）」が主な移動手段となっており、**公共交通を移動の選択肢としている回答は少ない状況**である。
- ・両目的とも、8時～10時台での移動が多いため、日中時間帯の公共交通の利用促進に向け、**公共交通に頼らざるを得ない町民を主なターゲットとして、運行時間帯の見直しが必要**である。

■公共交通に対する考え方

- ・ 4町とも、「利用実態に合わせた運行路線の短絡化など、運行規模の適切化を図りながら、地域公共交通を維持していくことが望ましい」とする回答が約7割となっており、**現状の公共交通網の利用実態に応じて運行規模の適切化**が求められている。（P45～48）
- ・ 地域を運行するバス路線について、妹背牛町では「現状維持で良い」が約6割、「乗換があっても利便性が向上するのであれば良い」が約3割となっている。
- ・ 地域交通の維持・確保に向けた考えについて、秩父別町では「一定の運行便数の確保」や「利用実態に合わせた運行便数への見直しは止むを得ない」といった意見が一定数ある。
- ・ JR留萌本線の存続問題に関する考えについて、沼田町では、「鉄道を存続すべき」が約4割、「鉄道と同じ程度の所要時間や運行便数であればバス転換しても良い」「バス転換すべき」が合わせて半数を超えている。
- ・ 地域を運行するバス路線について、北竜町では「現状維持で良い」が約6割、「乗換があっても利便性が向上するのであれば良い」が約3割と妹背牛町と概ね同様の傾向となっている。
- ・ 計画策定にあたっては、**各町における調査結果及び住民の考え方などを踏まえながら、路線別に方向性を検討する必要**がある。

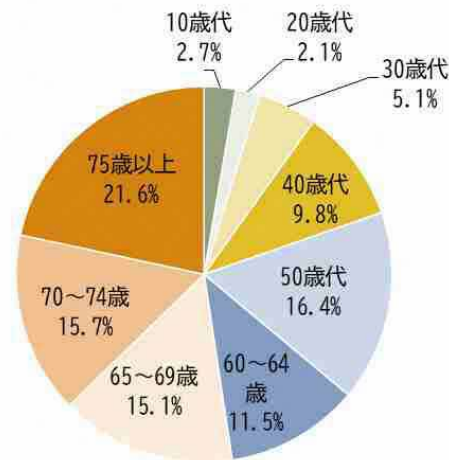
問1① 性別 (n=920)

☑概ね男女同数の回答



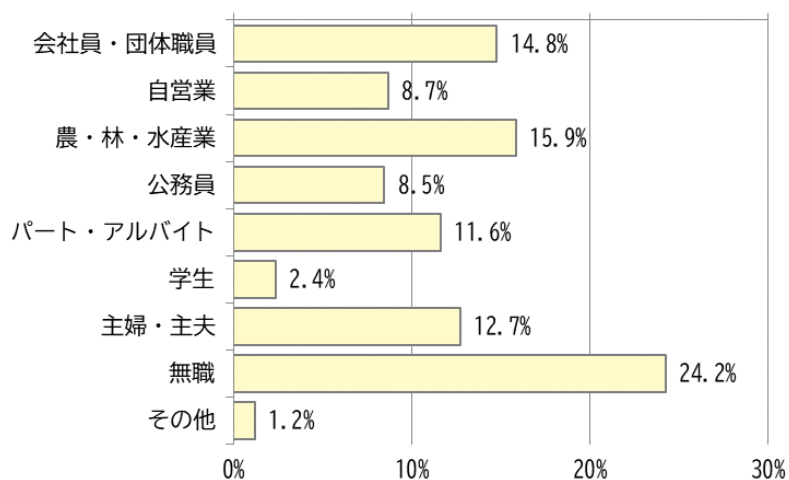
問1② 年齢 (n=926)

☑65歳以上の回答が5割以上を占める



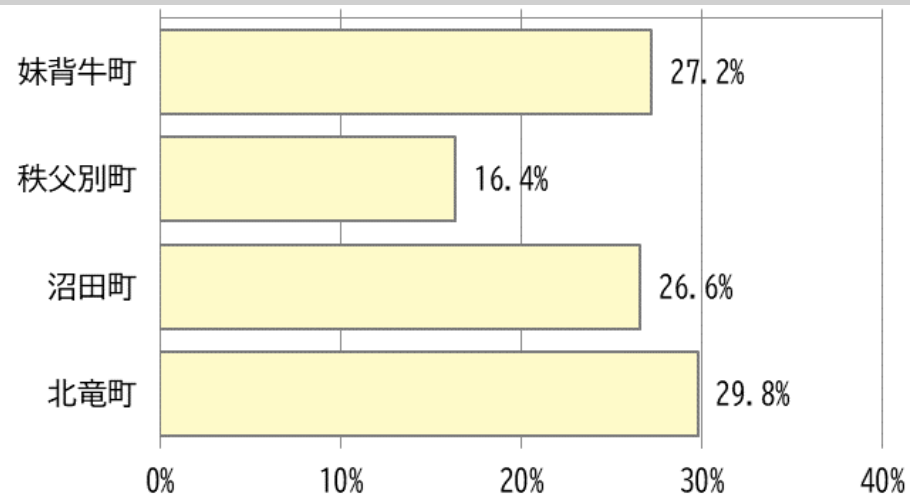
問2 職業 (n=916)

☑65歳以上の回答が多いこともあり、無職が24.2%と多い



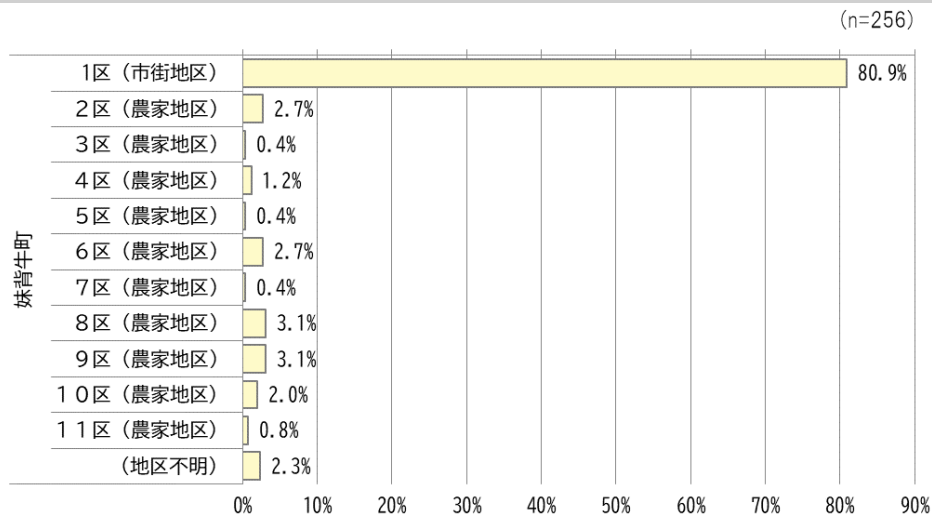
問3 お住まいの地区 (n=930)

☑差はあるが、4町の意見を得られている

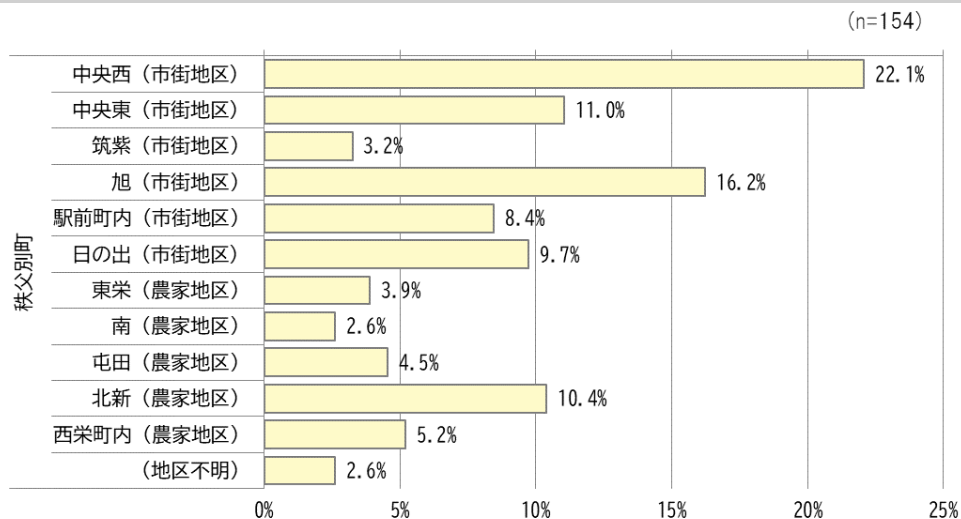


問3 お住まいの地区詳細 (n=940)

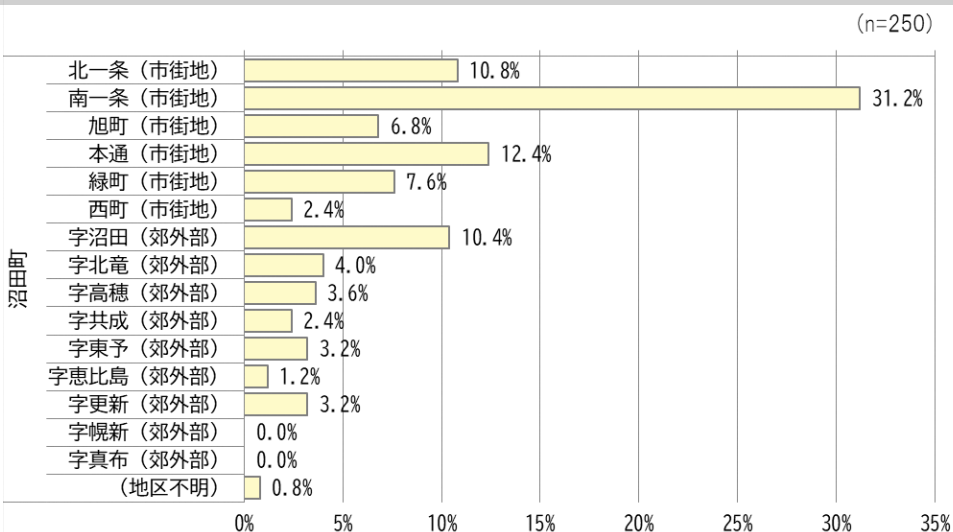
☑ 妹背牛町 (n=256)



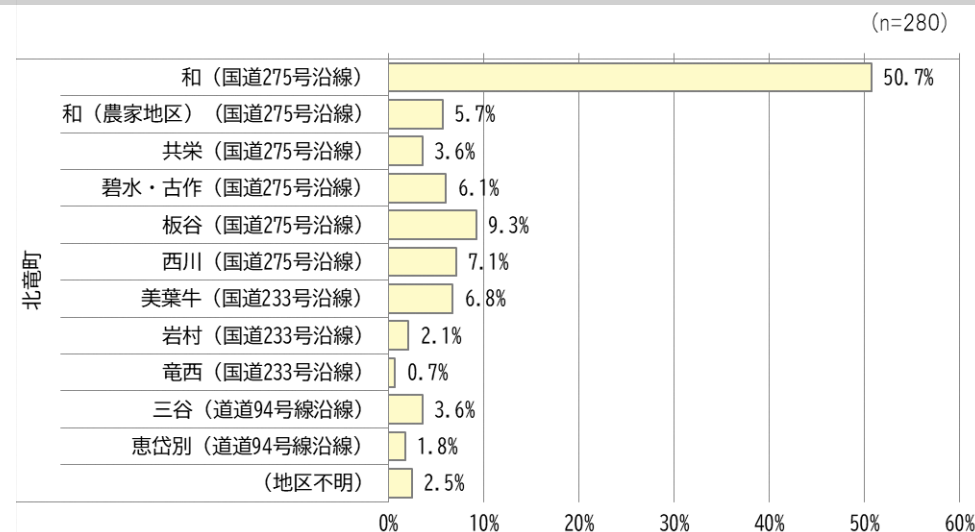
☑ 秩父別町 (n=154)



☑ 沼田町 (n=250)

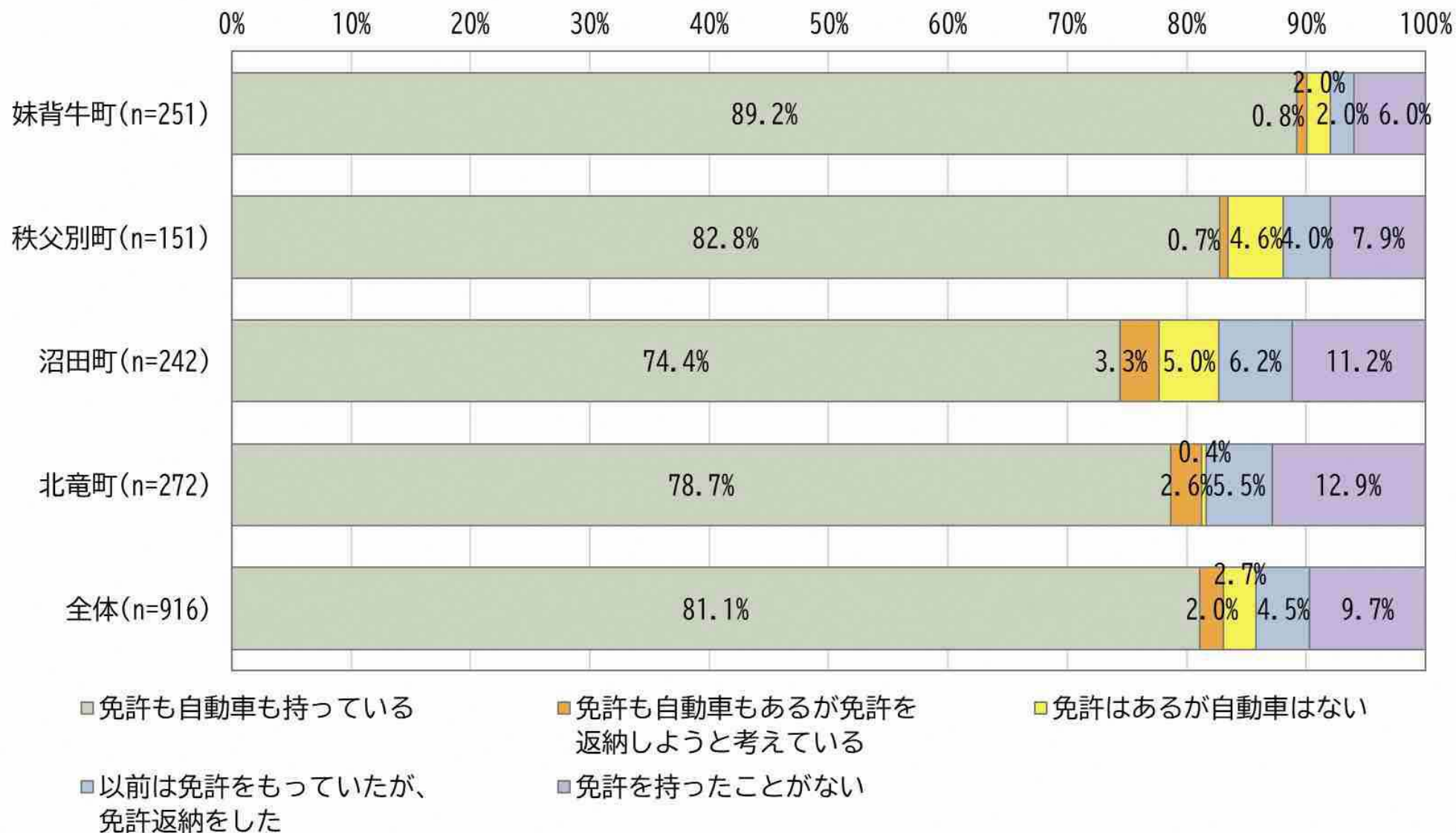


☑ 北竜町 (n=280)



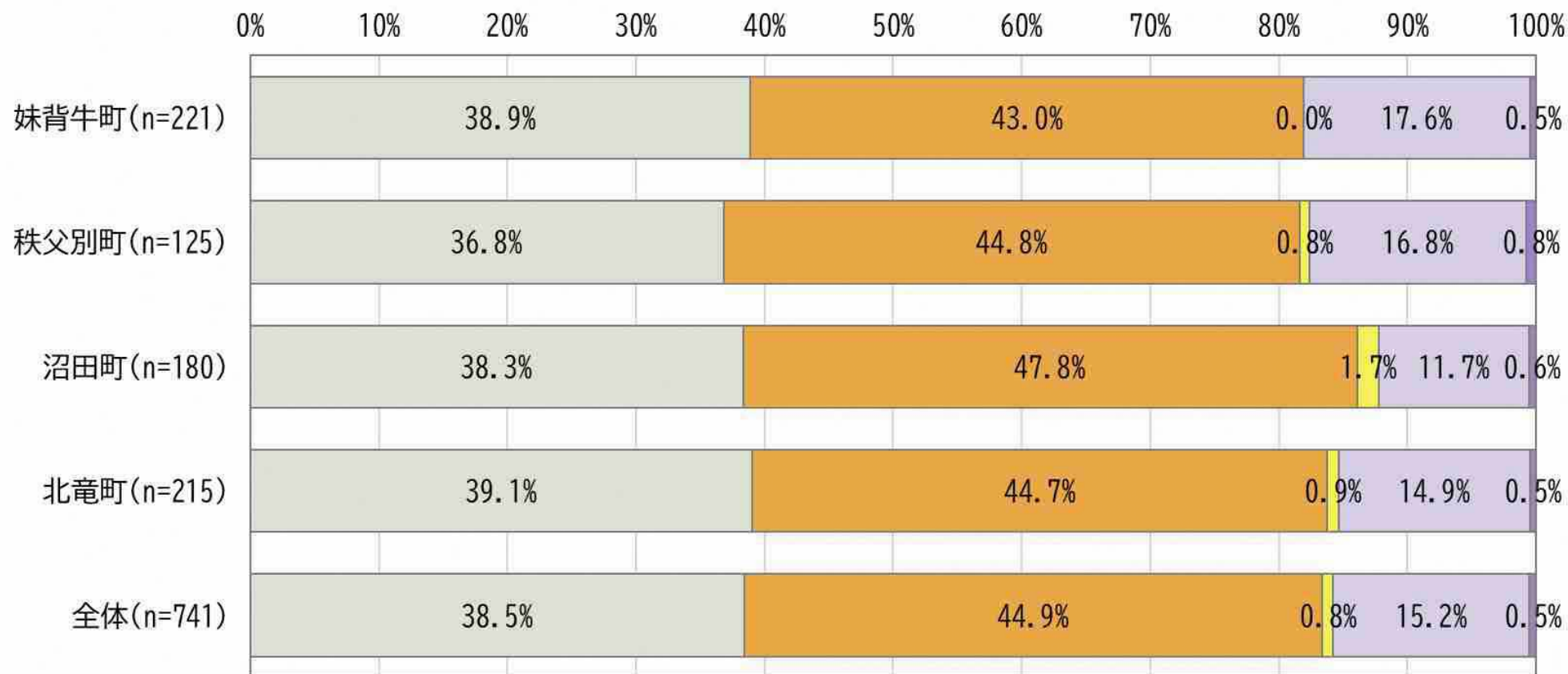
問4 免許・自動車の保有状況 (N=916)

☑地域に大きな差はなく、「免許も自動車も持っている」方が大半を占める



問5 自動車の運転意向 (N=741)

☑地域に大きな差はなく、「できる限りずっと運転したい」方が4割以上を占める



□ ある年齢頃まで運転したい

■ できる限りずっと運転したい

■ 今すぐにでもやめたい (免許返納したい)

□ わからない

■ その他